

まちづくり・都市デザイン競技 **国**

交大臣賞に砂川

都市計画協会（原田保夫会長）らで組織する「まちづくり月間全国的行事実行委員会」と都市づくりパブリックデザインセンター（岸井隆幸理事長）は、2050年を見据えた街づくりの構想や実現手法を募る21年「まちづくり・都市デザイン競技」の受賞者を発表した。国土交通大臣賞にはオリエンタルコンサルタンツグローバルの砂川良太氏による提案を選出。奨励賞など4賞の受賞者も選んだ。月内に表彰式を開催する。

良太氏（オリコンサル）

6月の「まちづくり月間」の関連行事の一環で、21年10月～22年3月に募集されたま市の「浦和駅周辺地区」（約94畝）を課題に、地域にふさわしい街づくりのアイデアを募った。74グループがエントリーし、55作品の提出があった。砂川氏の提案タイトルは「URAWA Urban Museum 『都市の記憶』」を発見・共有・発信するま

実行委、受賞者決定 課題は「浦和駅周辺地区」

ち」。旧中山道を軸に▽コア▽行政▽商業の各エリアを配置し、回遊性を高める構想となっている。選考委員は「分かりやすい空間構成をベースに、丁寧に考えられている」と評価した。同競技は街づくりへの国民の関心を高め、実際の街づくりにも貢献することを目的として、1998年度から毎年実施している。

国交大臣賞以外の受賞者は次の通り。▽受賞者名〓所属名。敬称略。【まちづくり月間全国的行事実行委員会会長賞】
▽石田武、半澤武夫、野島僚子、山崎ひかり、前山倫子、杏村潤貴、矢口伊万里、長坂康汰、木野朋彦、佐久間萌美、西川陽温〓大成建設
【都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞】
▽栗山康輔、土居正裕、南明日香、川江祐司朗〓竹中工務店開発研究本部
【奨励賞】
▽志波湧志、川島快〓清水建設
▽大田詩織、金川大倫、大家成葉、権藤友菜、松田杏奈、山内祥平〓滋賀県立大学
【さいたま市長特別賞】
▽田中勇氣、レタシロン、櫻本敦士、渡邊祐大、大井彩有里、小谷春花、山本雄一、橋元一成